

- 30 それゆえ、【主】はユダの王エホヤキムについてこう言われる。エホヤキムには、ダビデの王座に就く者がいなくなり、彼の屍は捨てられて、昼は暑さに、夜は寒さにさらされる。
- 31 わたしは、彼とその子孫、その家来たちを、彼らの咎のゆえに罰し、彼らとエルサレムの住民とユダの人々に対して、わたしが告げたが彼らが聞かなかった、あのすべてのわざわいをもたらす。」
- 32 エレミヤは、もう一つの巻物を取り、それをネリヤの子、書記バルクに与えた。彼はエレミヤの口述により、ユダの王エホヤキムが火で焼いたあの書物のことばを残らず書き記した。さらに同じような多くのことばもそれに書き加えた。

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2021年 11月 14日 (日)

礼拝メッセージノート

## 「決して失われない神のことば」

| エレミヤ書講解-72 | エレミヤ書36：20～32 | 他 小野寺 望 牧師

### 【 エレミヤ書 36章 】

- 20 彼らは巻物を書記エリシャマの部屋に置き、王宮の庭にいる王のところに行って、このすべてのことを報告した。
- 21 王はユディに、その巻物を取りに行かせたので、彼はそれを書記エリシャマの部屋から取って来た。ユディはそれを、王と王の傍らに立つすべての首長たちに読んで聞かせた。
- 22 第九の月であったので、王は冬の家の座に着いていた。彼の前には暖炉の火が燃えていた。
- 23 ユディが三、四段を読むごとに、王は書記の小刀でそれを裂いては暖炉の火に投げ入れ、ついに、巻物をすべて暖炉の火で焼き尽くした。
- 24 これらすべてのことばを聞いた王も、彼のすべての家来たちも、だれ一人恐れおののくことはなく、衣を引き裂くこともしなかった。
- 25 エルナタンとデラヤとゲマルヤが、巻物を焼かないようにと王に懇願しても、王は聞き入れなかった。
- 26 王は、王子エラフメエルと、アズリエルの子セラヤと、アブデエルの子シェレムヤに、書記バルクと預言者エレミヤを捕らえるように命じた。しかし、【主】は二人を隠された。
- 27 王が、あの巻物、バルクがエレミヤの口述で書き記したことばを焼いた後、エレミヤに次のような【主】のことばがあった。
- 28 「あなたは再びもう一つの巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた最初の巻物にあった最初のことばを、残らずそれに書き記せ。
- 29 ユダの王エホヤキムについてはこう言え。 【主】はこう言われる。あなたはこの巻物を焼いて言った。『あなたはなぜ、バビロンの王は必ず来てこの地を滅ぼし、ここから人も家畜も絶えさせる、と書いたのか』と。

(4ページへ続く)

## ◆ はじめに ～前回の復習（順序の訂正）

(1) エレミヤ書における7つのアウトラインの確認（30～31章が一番前に来る）

\*この箇所は7つの内の ④12部族の将来（30～39章）

- a. レカブ人の忠実さに見習う（35章）      b. 記された巻物と王たちの反応（36章）
- c. イスラエルの回復と希望（30～31、32～33章）      d. ゼカリヤ王への預言（34章）
- e. ゼデキヤの祈りの要請と逮捕（37章）      f. 獄中からの解放と召し（38章）
- g. エルサレム陥落と忠実な者の運命（39章）

## ◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

### | 神のことは拒否する者の悲劇

\*このメッセージは、神のことは拒む恐ろしさと、受ける者への幸いを学ぶものである。

=====

## I 巻物を焼くエホヤキム王（20～26節）

### 1. 巻物が焼かれる

(1) 首長たちは、王に巻物のことを報告する。

- ① 首長たちはエレミヤの巻物を神のことはであると認めた。
- ② 直ちに報告した：a. 国の一大事である。b. 権威への忠実さの表れ

(2) 王は巻物を持って来させ、首長たちの前でそれをエフティに読ませた。

- ① 状況：王は冬の部屋にいた。海拔800mに位置するエルサレムの冬は、寒さが厳しく（第9の月）、暖炉が炊かれていた。
- ② 王の反応：巻物のことはに怒った（神のことはに対する強い拒否）

読み終えた書を数段ごとに切り刻み、暖炉の火にくべた。

\*書記の小刀とは、パピルス紙の端を切って整えたり、葦のペン先を尖らせたナイフ

③ 評価：王も家来たちも悔い改めようとしなかった。

\*巻物が書かれた意味は、読んで悔い改めるため

\*神の意図を理解せず、軽んじる者が大半である。

### 2. 首長たちを通しての神の守り

(1) 王は、バルクとエレミヤに逮捕状を出し、彼らを捕らえるように命じた。

- ① 既にこうなることは想定しており、前もって彼らを隠れさせた。
- ② 神に忠実な者たちの配慮が用いられ、神はエレミヤを守った。

(2) 神に敵対する者の企みが失敗するケースである。

- ① 神はこの後、エレミヤに命じなければならない仕事がある。
- ② エホヤキム王にはこの後、罪の刈り取りとして重いさばきが下る。
- ③ 指導者の舵取りで得る結果は、民にも大きな影響がある。

\*ましてやイスラエルにおける王は、神の油注ぎが伴う重要な地位。

2 \*互いにけん制し合う三つ権威（祭司、王、預言者）の一つである。

2021.11.14

(3) 善王ヨシヤとの比較

① 対照的な親子；エホヤキムはヨシヤの子

\*ヨシヤ王は、書記のシャファンが巻物を朗読した時、深い悔い改めを表した。Ⅱ列22：1  
\*それ以降、ユダ王国では、ヨシヤの改革と呼ばれる霊的リバイバルが進行する。

② 神への応答：ヨシヤは衣を裂き、心から悔い改めた。

\*エホヤキムは父のように衣を裂くことはしなかった。

\*代わりに神のことはを切り裂き、かたくなに拒否したという皮肉な結果である。

## II 神のことは守られる（27～32節）

### 1. 神の命令：第二の巻物を作れ

(1) 神のことはがすぐに下る。

① エホヤキム王は巻物を燃やしたが、神は再びエレミヤに語りかけた。

② 燃やされたのと同じ巻物を書き記せ。

\*書き残すように命じた預言の啓示が破壊されることを許さなかった。

③ エレミヤもすぐに、再び先の巻物の時と同様に口述を始めた。

### 2. 神の呪い：王家の存続にかかわる

(1) エホヤキムの子孫から、ダビデの王位の継承者がいなくなる。

(2) エホヤキムだけでなく、その一族、民族全体にも同様のさばきが下る。

① 神のことはを破壊しようとした彼と子孫の役割が破壊される。

② 子のエコヌヤ（エホヤキン）に呪いが下る。22：30

\*エコヌヤは父の後を継いで、一時王座に着くが、3か月で退けられる。

彼には7人の子が居た（1歴3：17～18）が、後継者は出なかった。

(3) 結果：400年以上続いたユダ王朝の系譜は途絶えた。

① ダビデ契約やメシア誕生において、「王国」は重要な要素である。

### 3. さらに優れた巻物に

(1) 第一の巻物：ヨシヤの時代からエホヤキムの治世の第4年までの預言を含んでいた

(2) 第二の巻物はそれ以降の新しい預言も含まれた（増補版と言える。）

## ◆ まとめ：神のことは拒否する者の悲劇

1. エホヤキムとヨシヤ：神のことはを前に、何を「破る」か

2. 適用

① 神の語りかけを聞いて、自分の衣を裂く者は幸いである。この当時、「神の語りかけに衣を裂く」とは、悔い改めという内的変化を表す外的表現である。

② 私にとって「衣を裂く」ことは何か？ 何に悔い改めるのか？

今すべき霊的応答はイエスの福音を受け入れ、古い衣を脱ぐことである。

③ 福音に応答し、これまでと異なる新しい歩みを決心する私たちに、

神は導き、後押ししてくださる。死後のさばきではなく、永遠の祝福を得よ

2021.11.14